

## 礼拝メッセージフィードバック

今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2023.12.11~17

WE GROW IN THE GRACE AND KNOWLEDGE OF OUR  
LORD AND SAVIOR JESUS CHRIST. TO HIM BE  
GLORY BOTH NOW AND FOREVER! AMEN. II PETER

## LTG ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



23:1 あなたが支配者と食事の席に着くときは、前にある物によく注意するがよい。

23:2 あなたが食欲の盛んな人であるなら、自分の喉に短刀を当てよ。

23:3 そのごちそうを欲しがってはならない。それは偽りの食物である。

23:4 富を得ようと苦労してはならない。自分の分別によって、これをやめよ。

23:5 あなたがこれに目を留めると、それはもうないではないか。富は必ず翼をつけて、鷲のように天へ飛んで行く。

23:6 物惜しりする人のパンを食べるな。彼のごちそうを欲しがらな。

23:7 彼は、心のうちでは勘定ずくだから。あなたに「食べ、飲め」と言っても、その心はあなたとともにない。

23:8 あなたは、食べた食物を吐き出し、ほめことばを無駄にすることになる。

23:9 愚かな者に話しかけるな。彼はあなたの思慮深いことばを蔑むからだ。

23:10 昔からの地境を移してはならない。みなしこの畑に入り込んでではない。

23:11 彼らの贖い主は力強く、彼らの訴えを取り上げて、あなたと争うからだ。

23:12 あなたは訓戒に心を用い、知識のことばに耳を傾けよ。

23:13 子どもを懲らしめることを差し控えてはならない。むちで打っても、死ぬことはない。

23:14 あなたがむちでその子を打つなら、その子のいのちをよみから救い出すことができる。

23:15 わが子よ。もし、あなたの心に知恵

があれば、私の心も喜び、  
23:16 あなたの唇が公正を語るなら、私の心は喜びに躍る。

支配者と食事ということは光栄なことで、嬉しさのあまり冷静さを欠かないようにということでしょう。もしかしたら落とし穴があるかもしれませんから、用心しましょう。

苦労、努力などの目的は何でしょうか。もしもそれが「富を得よう」という欲から来るものであるなら、むなしいこととなります。失われることのない価値のある動機が大切です。誰かの幸せのため、永遠の命につながる何かのためなど、主に認めていただけるような目的のために苦労しましょう。

「昔からの地境」を移していつの間にか権利の範囲を広げてしまうのは、不正なやり方です。

「みなしこの畑」は管理する人も少なく、「入り込」みやすいですが、それを良いことにその領域を犯してはなりません。つまり弱い立場の人を守らないような人には「贖い主」である神が黙っていません。

「子どもを懲らしめる」ことは親としては負担になります。しかし愛情を込めて、時には体を張って子どもに真剣に向き合う必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 12日 火曜

### 箴言

23:17 心のうちで罪人を羨んではならない。いつも、ただ【主】を恐れていよ。

23:18 あなたには確かに将来がある。あなたの望みは断たれることはない。

23:19 わが子よ。よく聞いて、知恵を得よ。あなたの心が道をまっすぐ進むようにせよ。

23:20 大酒飲みや、肉を貪り食う者と交わるな。

23:21 大酒飲みや、貪り食う者は貧しくなり、惰眠を貪る者はほろをまとうようになるからだ。

23:22 あなたを生んだ父の言うことを聞け。あなたの母が年老いても蔑んではならない。

23:23 真理を買え。それを売ってはならない。知恵と訓戒と分別も。

23:24 正しい人の父は心躍らせ、知恵のある子を生んだ人はその子を喜ぶ。

23:25 あなたの父と母を喜ばせ、あなたを生んだ人を楽しませよ。

23:26 わが子よ、あなたの心をわたしにゆだねよ。あなたの目が、わたしの道を喜ぶようにせよ。

23:27 遊女は深い穴、見知らぬ女は狭い井戸だから。

23:28 その女は強盗のように待ち伏せ、人々の間に裏切り者を増やす。

23:29 嘆く者はだれか。悲嘆の中にある者はだれか。争いを好む者はだれか。不平を言う者はだれか。理由もなく傷ついている者はだれか。血走った目をしている者はだれか。

23:30 ぶどう酒をいつまでも飲み続ける者、混ぜ合わせた酒の味見をしに行く者だ。

23:31 ぶどう酒が赤いとき、杯の中で輝くと



き、滑らかにこぼれるとき、それを見てはならない。

23:32 後になると、これが蛇のようにかみつ

き、まむしのように刺す。

23:33 あなたの目は異様な物を見、あなたの心はねじれごとを語り、

23:34 海の真ん中で寝ている人のように、帆柱のてっぺんで寝ている人のようになる。

23:35 「私は打たれたが、痛くなかった。殴られたが、知らなかった。いつ、私は目を覚ますだろうか。もっと飲みたいものだ。」

世の中には不正やグレーゾーンで儲けている人もいますが、「羨んで」はいけません。そのような人には不幸が待っています。むしろ義なる主に従う者にこそ「将来」の「望み」があること、当たり前のこととして信じましょう。

「大酒飲み」と親しくなると自分も影響されます。また肉に象徴されるような高級品を「貪り」続ける人にも、その貪欲なライフスタイルに影響されますから気を付けましょう。

両親も不完全な人間ですから、その「言うこと」を聞くのはどうかと思うこともありますが、敵対や対立よりも和と尊敬を求めるとき、私たちの人生は豊かになります。主の真理に従いつつ、両親との平和を心がけましょう。

「遊女」のように、軽々しく欲望で女性と関わるなら、それは危険なことです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 13日 水曜

### 箴言

24:1 悪い者たちを羨んではならない。彼らとともにいることを望んではならない。

24:2 彼らの心は暴行を企み、唇は邪悪を語るからだ。

24:3 家は知恵によって建てられ、英知によって堅くされる。

24:4 部屋は知識によって、尊く好ましいあらゆる宝物で満たされる。

24:5 知恵のある男は力強い。知識のある人は力を増す。

24:6 あなたはすぐれた指揮のもとに戦いを交え、多くの助言者によって勝利を得る。

24:7 愚か者には知恵は珊瑚のよう。彼は町の門で、口を開くことができない。

24:8 悪事を働こうと企む者は、陰謀家と呼ばれる。

24:9 愚かなはかりごとは罪。嘲る者は人に忌み嫌われる。

24:10 もしあなたが苦難の日に気落ちしたら、あなたの力は弱い。

24:11 死に渡されるために捕らえられた者を救い出し、殺されようとしてよろめき歩く者を助け出せ。

24:12 あなたが「そのことを知らなかった」と言っても、人の心を評価する方は、それを見抜いておられないだろうか。あなたのたましいを見守る方は、それをご存じないだろうか。人の行いに応じて、報いをされないだろうか。

24:13 わが子よ、蜜を食べよ。それはおいしい。蜂の巣の蜜はあなたの口に甘い。

24:14 知恵もあなたのたましいには同じだと知れ。それを見つけるなら、あなたには将来



があり、あなたの望みが断たれることはない。

24:15 悪しき者よ、正しい人の住まいを狙うな。彼の伏す所を荒らすな。

24:16 正しい人は七度倒れても、また起き上がり、悪しき者はわざわざいでつまずくからだ。

24:17 あなたの敵が倒れるとき、喜んでではない。彼がつまずくとき、心躍らせてはならない。

24:18 【主】がそれを見て心を痛め、彼への怒りをやめられるといけない。

24:19 悪を行う者に対して腹を立てるな。悪しき者を羨むな。

24:20 悪者には将来がなく、悪しき者のともしびは消えるからだ。

24:21 わが子よ、【主】と王を恐れよ。そうしない者たちと交わってはならない。

24:22 彼らには、突然終局が訪れるからだ。主と王から来るわざわざいをだれが知るだろうか。

家を守るのは、世の中では財産と思われていますが、実は「知恵」であるということです。知恵がなければ財産も無駄に浪費してしまうでしょう。家族の幸を守るためにも、必要な知識を主に求めましょう。

「死に渡される」ような、また「よろめ」くような人を助けてあげましょう。見て見ぬふりは、主に「見抜」かれて、「報い」を受けることになります。もちろん、「助け」てあげるなら善き報いがあるでしょう。

「知恵」は「蜜」のように「甘い」とありますから、主のくださる知恵を喜び楽しみましょう。

「敵が倒れる」ことを喜ぶと、その動機が単なる自己中心であったということが明らかになって

しまいます。むしろ敵のために祈るような人のために、主は味方となってその義を表されるのだと知りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 14日 木曜

### 箴言



24:23 これらも、知恵のある者たちによる。さばくときに、人を偏り見るのは良くない。  
24:24 悪者に向かって「あなたは正しい」と言う者を、人々はののしり、国々の民は呪う。  
24:25 しかし、悪者を叱責する者たちは喜ばれ、すばらしい祝福が臨む。  
24:26 率直な答えをする者は、その唇に口づけされる。  
24:27 外であなたの仕事を確かなものとし、あなたの畑を整え、その後で、あなたは家を建てよ。  
24:28 あなたは、あなたの隣人に対し、根拠を持たない証人となってはならない。あなたのその唇で惑わそうとするのか。  
24:29 「彼が私にしたように、私も彼にしよう。彼の行いに応じて、仕返しをしよう」と言ってはならない。  
24:30 私は怠け者の畑のそばを、良識のない者のぶどう畑のそばを通った。  
24:31 見よ。茨が一面に生え、いらくさが地面をおおい、その石垣は壊れていた。  
24:32 私はこれを見て心に留め、これを見て戒めを受けた。  
24:33 少し眠り、少しまどろみ、少し腕を組んで横になる。  
24:34 すると、付きまとう者のように貧しさが、武装した者のように乏しさがやって来る。

「人を偏り見る」ということはなさそうですが、誰かに同情するときは、あるかもしれません。または自分の利害が絡んできたり、評判に関係するときには、気をつけなければならないでしょう。先入観を持たないようにしましょう。「根拠を持たない証人」となるのも、同じような状況ではあるかもしれません。

「仕返し」は、やられた者として当然の権利と思いがちですが、神様の倫理では違います。不正や暴力から守るといふのと、仕返しは違います。もう必要ないのに、自分がスッキリしたいのです。それは次の争いを生みます。それでスッキリはしないのです。

「良識のない者のぶどう畑」を見ても分かるように、怠け者の末路は「茨」の人生です。主が与えてくださったことを励みましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 15日 金曜

### 箴言

25:1 次もソロモンの箴言であり、ユダの王ヒゼキヤのもとにある人々が書き写したものである。

25:2 事を隠すのは神の誉れ。事を探るのは王たちの誉れ。

25:3 天が高く、地が深いように、王の心は測り知れない。

25:4 銀から金かすを除け。そうすれば細工人に、良い器ができあがる。

25:5 王の前から悪しき者を除け。そうすれば、王座は義によって堅く据えられる。

25:6 王の前で横柄にふるまってはならない。身分の高い人のいる所に立ってはならない。

25:7 高貴な人の前で下に下げられるよりは、「ここに上って来なさい」と言われるほうがよいからだ。

あなたがその目で見ただけを

25:8 急いで訴え出るな。さもないと、後になって隣人があなたに恥ずかしい思いをさせたとき、あなたはどのようにするのか。

25:9 あなたは隣人と争っても、ほかの人の秘密を漏らしてはならない。

25:10 そうでないと、聞く者があなたを侮辱し、あなたの悪い知らせは取り返しがつかなくなる。

25:11 時宜にかなって語られることばは、銀の彫り物にはめられた金のりんご。

25:12 知恵をもって叱責する者は、聞く者の耳にとって金の耳輪、黄金の飾り。

25:13 忠実な使者は、これを遣わす者にとって、刈り入れ時の冷たい雪のよう。その人は主人の心を生き返らせる。



主はあえて「事を隠」して、私たちの信仰を求められる時があります。先のことや利害などがわからなくても、主に従いましょう。それは主の「誉」であり、また私たちが主からの誉を受けることになります。

「金かすを除」くように、権力者の場から「悪しき者」を除く必要があります。教会や職場などでもそうでしょう。

「王の前」にいることは誉であり、自分が高められた気分ですが、そのときには謙遜になります。王でなくても、自分が高められたときは同じです。

「急いで訴え出る」というような場面はないように思えますが、自分の知ったかぶりや証拠によって勝ち誇りたい気持ちのときには、早く言うようになるものです。気を付けましょう。

「時宜にかな」うことは大切です。それによって全てのことに価値を増し加えます。その時を知るために、チャンスを逃さないために、主に聞き主から意欲を頂きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 16日 土曜

### 箴言

25:14 贈りもしない贈り物を自慢する者は、雨を降らせない雲や風のようにだ。

25:15 忍耐強く説けば、首領も納得する。柔らかな舌は骨を砕く。

25:16 蜜を見つけたら、必要なだけ食べよ。食べ過ぎて吐き出すことのないように。

25:17 隣人の家あまり足を運ぶな。その人がうんざりして、あなたを憎まないように。

25:18 隣人について偽りの証言をする人は、こん棒、剣、また鋭い矢のようだ。

25:19 苦難の日に、裏切り者に抛り頼むのは、悪い歯やよろける足を頼みとするようなもの。

25:20 心配している人の前で歌を歌うのは、寒い日に服を脱ぐようなもの、ソーダの上に酢を注ぐようなものだ。

25:21 あなたを憎む者が飢えているなら、パンを食べさせ、渴いているなら、水を飲ませよ。

25:22 なぜなら、あなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになり、【主】があなたに報いてくださるからだ。

25:23 北風は大雨を起こし、陰口をたたく舌は怒り顔を生む。

25:24 争い好きな女と一緒に家にいるよりは、屋上の片隅に住むほうがよい。

25:25 遠い国からの良い消息は、疲れたたましいへの冷たい水。

25:26 正しい人が悪しき者の前に屈服するのは、汚された泉、荒らされた井戸のようなもの。

25:27 蜜を食べ過ぎるのは良いことではない。自分の誉れを探るのは、誉れあることではない。



25:28 自分の霊を制することができない人は、城壁のない、打ち破られた町。

「贈りもしない」とあります。献金や伝道についてはどうでしょうか。やるつもりだというだけで、自己アピールしないよう気をつけましょう。

「首領も納得」とあります。「忍耐強く」というのは、仕事のことで適応できるかも知れません。

「苦難の日」には誰でも頼りたくなりますが、やはり主と主に従う人に相談しましょう。

心配している人の気持を思いやりましょう。愛は礼儀に反することをしないのです。

「あなたを憎む人」に善を行うのは、難しいでしょうが、主にさばきを委ねて、自分は赦しましょう。これは信仰のバロメーターです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26:1 夏の雪、刈り入れ時の雨のように、誉れは愚かな者にふさわしくない。  
26:2 逃げる雀のように、飛び去る燕のように、理由なしに、のろいが来ることはない。  
26:3 馬にはむち。ろばにはくつわ。愚かな者の背中にはむち。  
26:4 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えるな。あなたも彼と同じようにならないためだ。  
26:5 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えよ。そうすれば彼は、自分を知恵のある者と思わないだろう。  
26:6 愚かな者に託して言い送る者は、両足を切られ、暴行を受ける。  
26:7 愚かな者が口にする箴言は、足の萎えた者の垂れ下がった足。  
26:8 愚かな者に誉れを与えるのは、石投げ器に石を結わえ付けるようなもの。  
26:9 愚かな者が口にする箴言は、酔った人が手に取り上げる茨。  
26:10 愚かな者や通りすがりの者を雇う者は、だれかれかまわず射抜く射手のよう。  
26:11 犬が自分の吐いた物に戻って来るように、愚かな者は自分の愚かさを繰り返す。  
26:12 自分を知恵のある者と思っている人を見たか。彼よりも、愚かな者のほうが、まだ望みがある。

「理由なしに、のろい」は来ないとあります。何か良くないことが起こったなら、その原因や、神様のみこころを考えて見ましょう。さらに良い祝福のためかもしれませんし、きよめられるチャンスかもしれません。

「愚かさに合わせて」答えると、争いになります。自分が論破したらと喜んでいても、結局自分も愚かなレベルになってしまっていることに気づきましょう。神の視点と神の目的に立ちましょ。

「愚かな者」のあるあるが続きます。反面教師として、心に刻みましょう。その時は助かるからといって「愚かな者」に責務を預けると、後に面倒を抱えることになります。特に神様の働きにおいては、本当にイエス様を愛して従っている人に任せましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

